

6月 は環境月間です

6月5日は環境の日です。これは、1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められたものです。今年も全国で「環境月間」にちなんださまざまな催しが予定されており、境港市でも一斉清掃などが開催されます。

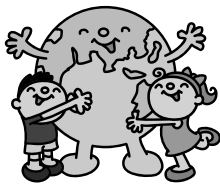
異常気象や地球温暖化を始めとする、今日の環境問題の多くは、私たちの日常生活や一般の事業活動が原因であり、豊かさや快適さを追究してきた社会や経済のあり方そのものに起因すると考えられています。その解決のためには、私たち一人ひとりのライフスタイルや事業活動のあり方を根本から見直し、社会の仕組み自体を持続可能なものへ変えていくことが求められています。

豊かな地球や地域の環境を、永く後の世代に引き継ぎ、持続可能な「循環型社会」を築いていくために、家庭や職場でライフスタイルの見直しに取り組みましょう。

買い物には「マイバッグ」を

レジ袋は、日本全体で1年間に約300億枚使用されています。レジ袋の大量消費により、限りある石油資源の大量消費やごみの増加、焼却時に温室効果ガスであるCO2を排出するなど、環境へさまざまな影響を及ぼしています。

レジ袋の削減は、ちよつとした心がけで、だれでも簡単に実行できます。買い物に行くときはマイバッグを持参し、不要なレジ袋は断りましょう。



「環境宣言」で地球にやさしい生活を

各家庭で、「使わない電灯をこまめに消す」など身近なことから環境配慮活動に取り組みみましょう。

県では、皆さんが行う環境にやさしい取り組みを支援する独自の制度「TEAS（テース）」を設けています。

・TEAS取組みの流れ

- (1) 活動内容を決めて、取り組みを宣言
- (2) 実際に活動してみよう
- (3) 点検してみよう
- (4) 1年間を振り返りましょう

登録後1年が経ったら、直近の1カ月の活動を報告し、活動を継続しましょう。

環境にやさしい市役所 率先実行計画の実施状況

市では平成17年度から「環境にやさしい市役所率先実行計画（第二期）」に取り組んでいます。この計画は、市の事務・事業から排出される温室効果ガスについて、平成16年度を基準として平成22年度には、5%削減することを目標としています。

平成19年度の実施結果は、下表のとおりで、基準年の平成16年度に対して4.0%削減することができました。

また、計画達成のために、全職員を対象として、消灯の徹底、公用車のアイドリングストップなどについての点検を実施しており、職員の環境に対する意識の向上を図っています。

今後、環境に配慮した事務・事業の徹底により、目標が達成できるよう努力します。

* 温室効果ガスの総排出量の算出は、電気・ガスリン・灯油・軽油・重油・LPGの消費量と廃プラスチックの焼却量から、二酸化炭素に相当する排出量を算出しています。

【率先実行計画の実施状況】

項目	平成19年度	平成18年度	平成17年度	平成16年度	増減割合 (対平成18年度)	増減割合 (対平成16年度)	目標値
温室効果ガス総排出量 (下水道事業を除く)	5,534トン	5,672トン	5,658トン	5,765トン	-2.4%	-4.0%	平成22年度までに、平成16年度に対して5%削減